興味津々

幸福の味を召し上がれ！黄色いポストとなりにファストフード店「はっぴぃ」オープン

古川地域 四季彩通り発

このコーナーでは、「大崎ライフ」をより楽しむための物や技、場所などを毎月紹介していきます。

あなたの大切な人に幸福を運ぶ「幸福の黄色い郵便ポスト」。

古川地域四季彩通り商店街には、日本でただ一つの黄色い郵便ポストが設置されています。商店街を幸せの発信拠点にしようと、二〇〇五年五月、吉野作造生家跡地「吉野ポケットパーク」内に、映画「幸福の黄色いハンカチ」からヒントを得て、黄色いポストを設置しました。手紙を出せば、全国どこへでも配達される本物のポストです。

「幸福の黄色い郵便ポスト」と名付けられた丸型のかわいいポストは、商店街のシンボルとして多くの人たちに親しまれ、幸福を運ぶポストとして全国から「幸せ」を求める人たちが訪れています。

これまでも、切手や便せん、はがきや貯金箱などの黄色いポストの関連商品を販売して話題を集めてきた四季彩通り商店街ですが、幸福を求めてポストを訪ねてくる人たちに、より一層「幸福感」を味わってもらいたいと、八月一日、黄色いポストとなりの幸福十番館内に、同商店街などの商店主が出資する㈲作造（つくぞう）がファストフード店「はっぴぃ」をオープンさせました。

看板メニューは、濃厚な味とシンボルカラーの黄色が特徴の「幸福のソフトクリーム」、たこ焼きならぬ「多幸（たこう）焼き」、ポストの焼印が入った「ポスト大判焼き」で、味も見た目も評判は上々。ほかにも、アイガモ農法無農薬米のおにぎりやコーヒー、ジュースなどがそろいます。

また、幸福十番館内では絵手紙風のイラストがかわいい黄色いTシャツや、ポストの形をした手作りのストラップなど新しい商品も販売され、人気となっています。

まち歩きを楽しみながら「はっぴぃ」に立ち寄って、黄色いポストと一緒に幸福な時間を過ごしませんか。

▲幸福の黄色いポストとなり幸福十番館内オープンした「はっぴぃ」。幸福のソフトクリーム 250 円、多幸焼き 300 円、ポスト大判焼き小倉 110 円、クリーム 120 円、おにぎり（アイガモ農法無農薬米）130 円　ほか。「みんなで試食を重ね、一番美味しい味になりました！」ソフトクリームの黄色は「企業秘密」なのだそう。

午前 10 時 30 分～午後 5 時 30 分
水曜日定休

問 はっぴぃ ☎ 23-0300

大崎情熱

自分の限界を超えて目標を達成したい

マラソンランナー
大崎 佳子さん（鳴子温泉地域）

力強いフォームで鳴子温泉街をさっそうと駆け抜ける大崎佳子さんは、数々のロードレースに出場しているマラソンランナーです。

大崎さんは、十一年前、結婚により出身地の仙台から鳴子へ移り住みました。体を動かすことが大好きで、新しい場所でもスポーツをしたいという思いから、「愛犬と散歩をしながらジョギングでも始めてみよう」と走り始めたのが、マラソンをするきっかけでした。

そして、少しずつ走る距離を伸ばしたり、より速く走れるように努力を続けていくうちに、自分の力を試してみたくなり、マラソンの大会に挑戦するようになりました。「目標をクリアしたときの達成感がたまらなく気持ちいい」と話す大崎さんは、設定記録をクリアすることが参加条件となっている「仙台国際ハーフマラソン大会」をはじめ、フルマラソンの「かすみがうらマラソン」などの各レースを好タイムで完走し、自分の言葉どおり次々と高い壁を越え続けています。

現在は、十一月十六日に開催される「東京国際女子マラソン大会」の出場を目指し、練習に励んでいます。

「家族や友人の支えがあり、沿道での声援があるからこそ、苦しいときでも走り続けられます。自分の走る姿を見た人が、元気になったり刺激を受けてくれればうれしいですね」と語ってくれた大崎さん。練習中に街の人から「頑張って」と声を掛けられると、自然と力がわいてくるそうです。彼女の走る先には、大きなステージが待っています。

▲早朝に走る大崎さん。大雨が降ったときや冬場以外は毎朝 17km もの距離を走り、大会が近くなると、さらに 2 倍の練習量になるそうです。「記録は年々伸びていて、どこまで速くなるか自分でも楽しみ」と話します。